

第134期 中間報告書

自 平成27年4月1日 → 至 平成27年9月30日



日本冶金工業株式会社
(<http://www.nyk.co.jp/>)

証券コード 5480



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



日本冶金工業株式会社



代表取締役社長

木村 始

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第134期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、円安の定着や原油安等

の追い風があったものの、欧州金融不安、中国経済の減速とそれに伴う世界同時株安の進行などを背景に、景気回復はまだら模様となりました。

ステンレス特殊鋼業界におきましては、LMEニッケル相場下落傾向が続くなど、事業環境は厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループといたしましては、引き続き販売価格の適正化とともに、戦略分野である高機能材の拡販に努めました。

しかしながら、高機能材部門においては、中国経済の減速、原油安による石油・ガス分野向用途の需要低迷等を受け、数量面につきましては、足踏みを余儀なくされました。

その結果、当上半期の連結業績につきましては、売上高は62,635百万円（前年同期比1,349百万円減）、経常利益は143百万円の損失（前年同期比895百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は405百万円の損失（前年同期比1,030百万円減）となりました。

このような収益状況にあり、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、中間配当を見送らせていただくことといたしました。

今後のステンレス特殊鋼業界につきましては、原料コストやエネルギーコストの動向、前述の中国経済の減速など、取り巻く環境は依然として不透明な状況が続いておりますが、LMEニッケル相場は低位ながら安定しつつあり、需給

環境は厳しいながらも総じて底堅く推移するものと想定されます。

当社グループでは、引き続き、販売価格の適正化に努めるとともに、石油・ガス分野向用途の需要低迷が続く高機能材部門においては、活況を呈する航空機製造や環境対策分野における底堅い需要を着実に捕捉する等、市場の動向に迅速に対応し、拡販に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月

連結財務ハイライト

目次

株主の皆様へ 1

事業概況 3

連結財務諸表 5

会社の概要 7

製品紹介 8

株主メモ 10



【表記に関する注記】
 ※ 本中間報告書における収益関連数値につきましては、期初からの「累計値」を用いています。したがって、「第2四半期」と表記されている数値は、当該期における第1四半期(4/1~6/30)と第2四半期(7/1~9/30)との合計値を意味します。

※ 本中間報告書における決算数値につきましては、原則としてそれぞれの数値の百万円未満を四捨五入した上で表記しております。したがって、「売上高(単体)」のグラフにつきまして、各期(各年度)の左側(ステンレス鋼板、高機能材、その他)の数値の合計と、右側(国内、輸出)の数値の合計は、本来同一のものです。個別の数値を四捨五入して表記していることから、「合計」値に一部相違が生じる場合があります。また、各財務諸表上も、各科目を加算した値と「合計」値とが、必ずしも一致しない場合があります。

事業概況

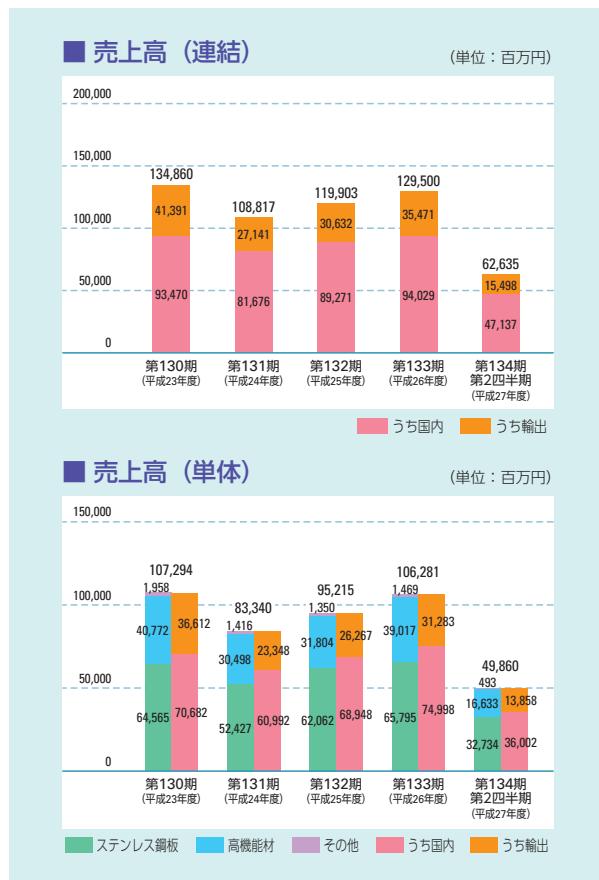
当社グループの戦略分野である高機能材については、国内需要の伸び悩みや、中国経済の減速、原油安による石油・ガス分野向用途の需要低迷等を受け、販売数量面で足踏み余儀なくされました。

また、ステンレス一般材については、国内市場の需要回復に力強さがなく、LMEニッケル相場下落等による先行きの不透明感から、購入に慎重な姿勢が目立つようになり販売数量が下振れしました。

このような中、引き続き、販売価格の適正化を図るとともに、活況を呈している航空機製造や環境対策分野等における高機能材需要の捕捉に努めました。

当第2四半期累計の連結売上高は、前年同期比2.1%減少し、62,635百万円となりました。

このうち、国内売上高は47,137百万円、輸出売上高は15,498百万円となっております。(国内：75.3%、輸出：24.7%)



売上高内訳表 (単体)

区分		第133期第2四半期 (A)	第134期第2四半期 (B)	前年同期比 (B/A)
高機能材	販売量 千 t	21.7	18.9	87.1%
	売上高 百万円	18,594	16,633	89.5%
ステンレス鋼板	販売量 千 t	106.6	103.5	97.1%
	売上高 百万円	33,681	32,734	97.2%
その他	売上高 百万円	865	493	56.9%
合計	売上高 百万円	53,141	49,860	93.8%
うち輸出	売上高 百万円	14,815	13,858	93.5%

重要な子会社の状況

①子会社

平成27年9月30日現在

会社名	資本金	議決権の所有割合	主要な事業内容
ナストーア株式会社	百万円 100	100.00 %	ステンレス鋼および高機能材の溶接鋼管の製造ならびに販売
ナス鋼帯株式会社	682	100.00	ステンレス磨帯鋼製造ならびに販売
ナス物産株式会社	560	100.00	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
クリーンメタル株式会社	200	100.00	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
ナスクリエート株式会社	90	100.00	ステンレス製品梱包用資材の販売および損害保険代理業
ナスエンジニアリング株式会社	102	100.00	設備設置工事、他エンジニアリング事業
ナステック株式会社	100	100.00	特殊鋼・ステンレス鋼の製造・加工に係わる作業受託業務
宮津海陸運輸株式会社	32	100.00	港湾運送、貨物自動車運送、通関業ならびに加工砂の販売
NAS TOA (THAILAND) CO.,LTD.	千バーツ 220,000	100.00	ステンレス鋼管および加工品の製造販売

(注) 議決権の所有割合には間接所有割合が含まれております。

②持分法適用関連会社

会社名	資本金	議決権の所有割合	主要な事業内容
三豊金属株式会社	百万円 20	49.00 %	ステンレス鋼および非鉄金属材料の販売ならびに加工

(注) 議決権の所有割合は間接所有割合です。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期末 平成27年9月30日現在	前 期 末 平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	56,596	59,158
現金及び預金	5,796	5,042
受取手形及び売掛金	20,234	20,966
商品及び製品	7,369	9,193
仕掛品	17,102	15,584
原材料及び貯蔵品	5,920	7,927
その他	714	1,010
貸倒引当金	▲ 540	▲ 564
固定資産	80,493	81,796
有形固定資産	74,228	75,037
建物及び構築物	11,650	11,986
機械装置及び運搬具	22,033	22,506
土地	38,707	38,784
その他	1,838	1,761
無形固定資産	1,411	1,162
投資その他の資産	4,855	5,597
投資有価証券	4,185	4,913
その他	692	707
貸倒引当金	▲ 22	▲ 23
繰延資産	55	61
社債発行費	55	61
資産合計	137,143	141,015

POINT

流動資産

主として原料価格の下落により、たな卸資産（「商品及び製品」「仕掛品」「原材料及び貯蔵品」の合計）が前期末比約23億円減少しております。

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成27年9月30日現在	前 期 末 平成27年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	60,464	62,043
支払手形及び買掛金	15,838	17,485
短期借入金	28,594	27,470
1年内償還予定の社債	600	600
1年内返済予定の長期借入金	10,036	10,423
賞与引当金	699	690
その他	4,698	5,375
固定負債	43,348	44,717
社債	2,100	2,400
長期借入金	21,378	22,651
退職給付に係る負債	9,218	9,067
環境対策引当金	21	30
金属鉱業等鉱害防止引当金	5	5
その他	10,626	10,564
負債合計	103,813	106,761
(純資産の部)		
株主資本	30,627	31,008
資本金	24,301	24,301
資本剰余金	9,542	9,542
利益剰余金	▲ 3,078	▲ 2,697
自己株式	▲ 138	▲ 138
その他の包括利益累計額	2,699	3,241
その他有価証券評価差額金	916	1,370
繰延ヘッジ損益	▲ 0	▲ 0
土地再評価差額金	1,700	1,724
為替換算調整勘定	83	147
非支配株主持分	5	5
純資産合計	33,331	34,254
負債純資産合計	137,143	141,015

(注記)

保証債務額	11	16
受取手形割引高	2,730	3,773
受取手形譲渡高	420	393

POINT

純資産

当第2四半期末における自己資本比率は24.3%となりました。

四半期連結損益計算書

科 目	当第2四半期 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	前第2四半期 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
売上高	62,635	63,983
売上原価	57,198	57,939
売上総利益	5,436	6,045
販売費及び一般管理費	4,900	4,808
営業利益	536	1,237
営業外収益	214	283
受取配当金	50	44
固定資産賃貸料	48	56
為替差益	59	120
その他	57	62
営業外費用	893	768
支払利息	622	554
その他	272	213
経常利益又は経常損失(▲)	▲ 143	752
特別利益	9	80
特別損失	209	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(▲)	▲ 343	823
法人税等	63	194
四半期純利益又は四半期純損失(▲)	▲ 405	629
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(▲)	▲ 0	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(▲)	▲ 405	625

(注記)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(▲)	△2.62円	4.04円
-----------------------------	--------	-------

POINT

売上高

引き続き販売価格の適正化に努めるとともに、当社の戦略分野である高機能材の拡販に取り組みましたが、国内需要の伸び悩み、中国経済の減速、高機能材の主要用途である石油・ガス分野向の需要低迷などにより販売数量面で減少を余儀なくされました。この結果、当第2四半期の売上高は前年同期比約13億円の減収となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第2四半期 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	前第2四半期 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,916	▲ 2,937
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(▲)	▲ 343	823
減価償却費	1,772	1,739
退職給付に係る負債の増減額(▲は減少)	151	181
受取利息及び受取配当金	▲ 51	▲ 45
支払利息	622	554
売上債権の増減額(▲は増加)	733	▲ 135
たな卸資産の増減額(▲は増加)	2,313	▲ 4,890
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲ 1,647	▲ 579
その他	▲ 62	▲ 19
小計	3,488	▲ 2,372
利息及び配当金の受取額	51	45
利息の支払額	▲ 638	▲ 545
法人税等の支払額又は還付額(▲は支払)	15	▲ 66
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,491	▲ 1,260
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 1,544	▲ 1,546
その他	53	286
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 580	2,767
短期借入金による純増減額(▲は減少)	1,227	▲ 868
長期借入れによる収入	3,825	9,074
長期借入金の返済による支出	▲ 5,486	▲ 5,050
その他	▲ 146	▲ 390
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 83	29
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	761	▲ 1,402
現金及び現金同等物の期首残高	4,980	6,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,741	5,177

POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー

主としてたな卸資産の減少に伴い、営業活動によるキャッシュ・フローの合計額が前年同期比約59億円改善しました。

取締役および監査役

平成27年9月30日現在

代表取締役社長	木村 始
代表取締役	諸岡 道雄
取締役	久保田 尚志
取締役	橋之口 真
取締役	大田 富貴
取締役	岡田 和彦
常勤監査役	前田 博美
常勤監査役	岸田 守
監査役	山口 宗一
監査役	稲垣 多津夫

(ご参考)

取締役のうち、岡田和彦氏は社外取締役であります。また、監査役のうち、岸田守および稲垣多津夫の2氏は社外監査役であります。

執行役員

平成27年9月30日現在

執行役員社長	木村 始
専務執行役員	諸岡 道雄
常務執行役員	久保田 尚志
常務執行役員	橋之口 真
常務執行役員	大田 富貴
常務執行役員	長谷川 正晃
常務執行役員	堀内 真
執行役員	野田 人
執行役員	小林 靖彦
執行役員	木内 康裕
執行役員	佐々木 秀一
執行役員	王 昆
執行役員	小林 伸互

会計監査人

平成27年9月30日現在

八重洲監査法人

国内拠点

平成27年9月30日現在

本社	東京都中央区京橋一丁目5番8号(三栄ビル) (☎104-8365) 電話(03)3272-1511
大阪支店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号(興銀ビル) (☎541-0043) 電話(06)6222-5411
名古屋支店	名古屋市中区栄町二丁目3番6号(NBF名古屋小路ビル) (☎460-0008) 電話(052)211-1102
九州支店	福岡市中央区天神一丁目15番6号(綾杉ビル) (☎810-0001) 電話(092)722-4170
広島支店	広島市中区紙屋町二丁目1番22号(広島興銀ビル) (☎730-0031) 電話(082)243-0039
新潟支店	新潟市中央区東大通一丁目2番25号(北越第一ビル) (☎950-0087) 電話(025)247-9261
川崎製造所	川崎市川崎区小島町4番2号 (☎210-8558) 電話(044)271-3012
大江山製造所	京都府宮津市字須津413番地 (☎629-2251) 電話(0772)46-3121

海外現地法人

平成27年9月30日現在

NIPPON YAKIN AMERICA, INC. (シカゴ現地法人)	5600 N River Road Suite 800, Rosemont, Illinois 60018, U.S.A. TEL: +1 (847) 685-6644 FAX: +1 (847) 292-4404
日邦冶金商貿(上海)有限公司(上海現地法人)	Rm.1018, Shanghai International Trade Centre, 2201 Yan An Road(W), Shanghai, China TEL: +86 (21) 5239-2670 FAX: +86 (21) 5239-2679
NIPPON YAKIN EUROPE LIMITED (ロンドン現地法人)	72 Hammersmith Road, London, W14 8TH, United Kingdom TEL: +44 (20) 7858-0948 FAX: +44 (870) 928-9968
NIPPON YAKIN ASIA PTE. LTD. (シンガポール現地法人)	10 Anson Road, #31-09 International Plaza, Singapore 079903 TEL: +65-6226-2376 FAX: +65-6226-3426

ポルカプレート

日本冶金工業が開発した床用ステンレス鋼板「ポルカプレート」は、板の表面に水玉模様 (polka dot) の丸い突起があり、掃除がしやすい、滑りにくい、歩きやすいなど優れた特長があります。最近、食品への異物混入問題がニュースとして取り上げられることが多くなっていますが、ポルカプレートはその清掃性が高く評価され、多くの食品工場のステージ・階段・床として使用されています。同様の理由で医薬品工場でも使用されており、今後も増強が見込まれるジェネリック医薬品の生産設備等、ポルカプレートの活躍する場面がさらに増える予想しています。

また水玉模様のデザインはソフトな印象を与えるので、工場内だけでなくビルやマンションなど建築関係で採用されることが増えています。COREDO室町(東京都中央区日本橋室町)の地下駐車場入口の止水板や、国立国会図書館関西館(京都府相楽郡精華町)のエレベータ床など身近な所で見る事ができます。



ポルカプレートの床



パンフレット表紙

この度、ポルカプレートのパンフレットと当社ウェブサイトのポルカプレートのページを全面改訂いたしました。一番の特長である清掃性を分かりやすく掲載しています。また台車の走行音が静かであることも追加いたしました。パンフレットはウェブサイトからダウンロードして見ることもできますので、ぜひ一度ご覧ください。



(ポルカプレートのページにアクセスできます)

スーパーカミオカンデ



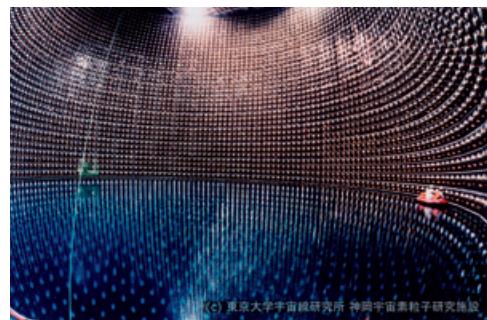
① 鉱山内の空洞にステンレス板を貼り付け中

	名称	成分
汎用ステンレス鋼	NAS304	8%Ni-18%Cr-Fe

スーパーカミオカンデは東京大学の梶田教授が2015年のノーベル物理学賞を受賞したことで一躍脚光を浴びている素粒子物理学の基礎研究施設です。研究内容を十分に理解することは難しいのですが、ニュートリノという素粒子を観測することにより宇宙の歴史と進化、物質の成り立ち等を解明することを目的に研究が続けられています。

ニュートリノは私たちの体を光速で1秒間に1兆個も通り抜けているほど宇宙に大量に存在していますが、他の物質と殆ど反応しないため観測が非常に難しい素粒子です。スーパーカミオカンデでは、神岡鉱山（岐阜県飛騨市）の地下1,000mに設置された円筒形水タンク（直径39.3m、高さ41.4m）の内部に満たした5万トンの超純水を構成する酸素と水素の原子に、ニュートリノが衝突するときに発するわずかな光を捉えることによりニュートリノを観測しています。

日本冶金工業の高品質なステンレス鋼NAS304は、このタンクの底板に数十トン使用され、5万トンの超純水を保持し続けています。



② 光電子増倍管が設置されたタンク内に超純水を注入中

写真提供 東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ（ http://www.nyk.co.jp/ ）といたします。 ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

1. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・住所、氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定（※）	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	[お手続き用紙のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ いずれも24時間受付

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例分配方式はお選びいただけません。

2. 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	お問い合わせください。